

てんかん重積状態（けいれん重積状態）

けいれん発作が長時間持続する、意識が回復することなく次の発作が生じる場合などは、救急治療が必要です。これらの状況では、てんかんのある人が「てんかん重積状態」になることが一番怖いからです。「てんかん重積状態」とは、てんかん発作が止まらない脳内の異常な状態であり、まれに意識障害などの後遺症や生命にかかわることもあります。「てんかん重積状態」の治療はかかりつけの病院が遠くにある場合でも、基本的にまずは近隣の救急医療機関へ搬送してもらってください。通常は麻酔作用のある注射薬を投与し、脳の異常活動を抑えます。一見、けいれんなどの症状が見られなくなっても、脳内の異常活動が続いていることがあり（非けいれん性てんかん重積）、その際はより強い治療を行う場合があります。重積状態になる原因として、発熱などの体調不良や治療薬の急激な中止があります。体調不良時に無理をしたり、自己判断で服用を中止したりは避けるべきです。

てんかん以外の原因として、脳の急性疾患、とくに脳炎などは早急な治療が必要です。てんかん重積状態はとにかく救急受診と覚えてください。

必ず
救急
受診
を!

